

第67回「社会を明るくする運動」 【優秀賞】

『社会を明るくするために』

八尾市立東中学校

二年（当時） 神田 夏花

社会を明るくするには、逆に、社会が暗くなるようなことを無くしていけばいいと思います。社会が暗くなることとは、例えば、犯罪や非行、学校や職場のいじめ問題、自殺、児童虐待など、思いつくまま書き出しただけで、気持ちが暗くなるようなことです。私は直接経験したことはありませんが、テレビからは毎日事件や事故などの暗いニュースが流れています。

社会が暗くなることが、なぜ世の中にたくさんあふれているのでしょうか。私は、その原因の一つとして、人と人とのコミュニケーション不足があげられるのではないかと考えています。

今の時代、「スマホ」などの普及で相手の顔はおろか、声も聞かずに連絡を取ることができます。私も実際、わざわざ会ったり電話で話したりするのは面倒だと思ってしまいます。「スマホ」で文字を打つのが早くて上手い人も目の前の人に自分の気持ちを伝えるのが下手な人はたくさんいるのではないのでしょうか。

便利になった分、人と人が直接関わる機会が減り、その結果、人の気持ちを考えることができなくなったり、自分勝手な行動を取ってしまったたりし、犯罪や非行が起きているように思います。

今、改めて自分の行動を振り返ってみると、心配に思うことがあります。

私は中学生になって「スマホ」を持つようになりました。家に帰ってきたら、まず「スマホ」です。小学生の頃は、学校から帰ってきたら、おやつを食べながら今日あった色んな出来事を母や妹に話していました。今は「スマホ」に向かう時間が長く、以前に比べたら家族との会話が減ったように思います。

このままでは、私も人とうまくコミュニケーションが取れなくなってしまうかもしれません。そこで私は、あいさつをしっかりとすることから始めてみようと思いました。

なぜなら、コミュニケーションの入口はあいさつだからです。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「ありがとう」「ただいま」「おかえり」「おつかれさま」「いただきます」など、元気に笑顔で言えたら、きっと言われた相手も気持ちが明るくなって笑顔になるはずです。元気に笑顔であいさつをされて嫌な気持ちになる人はいないと思うからです。

社会の元になるのは家族です。だから私は家族の中でのあいさつ、会話をもう一度見直してみようと思います。小さなことかも知れないけれど、家族ときちんと向き合っあいさつや会話を交わし、コミュニケーションしっかりとつ

ていきたいと思います。身近な人々とのコミュニケーション、それが社会を明るくする第一歩だと私は思います。